



大潟村消防団大健闘

第二六回 全国消防操法大会

第二六回全国消防操法大会は一月一九日(金)、富山県広域消防防災センター(富山県富山市)において、全国四七都道府県からポンプ車の部に二三消防団と小型ポンプの部に二五消防団がそれぞれ出場し開催されました。(開催地は二種目に出場)



開 会 式

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
http://www.shoubou-akita.or.jp
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
http://www.matsubarainsatsu.co.jp

今年結団五〇周年を迎えた大潟村消防団は、ポンプ車部門の秋田県代表としては七期連続の出場となりました。



会長激励あいさつ

今年の出場隊は、一番員から三番員まで二〇代の若いメンバーをそろえ大会に臨み、大健闘しました。また、地元消防団をはじめ、大潟村長など村民一丸となつて応援に駆け付けていただきました。この場を借りましてお礼申し上げます。

■全国大会に出場して

平成三十年全国統一防火標語
忘れてない?
サイフにスマホに
火の確認



指揮者 吉原 忍
二年間この仲間たちとやってこれて良かった。四五歳の青春、平成最後の夏は最高だった。



一番員 佐藤 真悟
ご協力頂いた皆様、二年間共に練習に励んだ仲間に感謝です。全国、楽しかった!



二番員 佐藤 寿輝
全国大会に向けて二年間練習してきたことを、今後に生かしていきたいです。



三番員 鈴木 昇
今回初の全国大会の経験を、今後の人生に生かしていきたいです。

ポンプ車の部						
種別	都道府県名	所属団名	第一線	第二線	合計タイム	総合得点
優勝	栃木県	益子町消防団	51.89秒	60.89秒	112.78秒	183.00点
準優勝	富山県	砺波市消防団	52.31秒	61.97秒	114.28秒	177.50点
"	茨城県	古河市消防団	50.64秒	61.16秒	111.80秒	177.00点
"	鳥取県	米子市消防団	50.56秒	59.38秒	109.94秒	174.50点
敢闘賞	秋田県	大潟村消防団	52.05秒	65.55秒	117.60秒	158.00点

小型ポンプの部				
種別	都道府県名	所属団名	タイム	総合得点
優勝	滋賀県	日野町消防団	40.72秒	91.0点
準優勝	鹿児島県	長島町消防団	42.34秒	89.5点
"	兵庫県	福崎町消防団	41.09秒	89.0点
"	岐阜県	下呂市消防団	41.73秒	88.5点

■上位の成績



補助員 村上 直樹
結果は残念でしたが皆様の協力のもと、全国大会で操法ができたことは光栄でした。



四番員 高木 茂之
全国大会は富山市というところで、海の幸を堪能し、体重が増量してしまいました。



激励交流会本県選手



消防応援団



激励交流会ステージ



操法開始前



本県選手入場



谷口大瀧村団長



本県の応援席



操 法 ②



操 法 ①

大会名	開催年度	出場団・成績	
第12回	平成2年	比内町第1分団	優良賞 (7位)
第14回	平成6年	大瀧村第3分団	準優勝 (3位)
第16回	平成10年	大瀧村第3分団	準優勝 (2位)
第18回	平成14年	大瀧村第3分団	優 勝
第20回	平成18年	大瀧村第3分団	優良賞 (7位)
第22回	平成22年	大瀧村第3分団	優良賞 (6位)
第24回	平成26年	大瀧村第3分団	敢闘賞 (15位)
第26回	平成30年	大瀧村第3分団	敢闘賞 (16位)

■過去の成績 (平成以降:ポンプ車)



高橋大瀧村長激励

平成三〇年秋の叙勲
第三一回危険業務従事者叙勲

平成三〇年秋の叙勲及び第三一回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日(土)に発令されました。

本県の消防関係では、秋の叙勲で二五名、危険業務従事者叙勲で九名が受章されました。十一月五日(月)午後二時から秋田県正庁において知事の伝達式が行われました。

また、消防庁長官の伝達は、秋の叙勲が一月一二日(月)ニッショーホール、危険業務従事者叙勲が一月七日(水)総務省(合同庁舎第二号館)



で行われ、それぞれ叙勲伝達後、皇居において拝謁が行われました。受章者の皆様、誠におめでとうございませう。

平成三〇年秋の叙勲

◆瑞宝小綬章(一名)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
消防正監 佐藤 富男

◆瑞宝双光章(一名)

元大館市田代消防団
分 団 長 北 林 鉄郎

◆瑞宝単光章(二三名)

元大館市消防団 副 団 長 安 部 幸美
元大館市消防団 副 団 長 伊 藤 誠一
元大館市消防団 分 団 長 伊 藤 義雄
元由利本荘市消防団 副 団 長 岡 見 鑛藏
元仙北市消防団 分 団 長 黒 坂 源助
元横手市消防団 分 団 長 黒 沢 孝一

元琴丘町消防団

分 団 長 近 藤 喜久治

元由利本荘市消防団

副 団 長 齊 藤 貞雄

元五城目町消防団

分 団 長 佐々木 久米雄

元横手市十文字消防団

副 団 長 佐々木 美弘

元羽後町消防団

副 団 長 佐藤 輝昭

元湯沢市消防団

副 団 長 佐藤 利夫

元大潟村消防団

團 長 柴 田 周悦

元大潟村消防団

團 長 菅 生 金作

元仙北市消防団

副 団 長 鈴 木 重藏

元大雄村消防団

分 団 長 壽 松 木 俊一

元秋田市消防団

分 団 長 鈴 木 尚一

元雄勝町消防団

分 団 長 高 橋 一雄

元由利本荘市消防団

團 長 田 口 憲一

元大館市消防団

副 団 長 中 野 信一

元潟上市消防団

分 団 長 古 戸 敏弘

元男鹿市消防団

分 団 長 黒 勝太郎

元北秋田市消防団

分 団 長 山 城 克夫

第三一回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(四名)

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

消 防 監 加 藤 秀輔

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消 防 監 佐々木 浩

元横手市消防本部

消 防 司 令 長 佐藤 茂

元能代山本広域市町村圏組合消防本部

消 防 司 令 長 信 太 民 久

◆瑞宝単光章(五名)

元五城目町消防本部

消 防 司 令 長 伊 藤 満

元秋田市消防本部

消 防 司 令 長 加賀谷 英治

元にかほ市消防本部

消 防 司 令 佐藤 松雄

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部

消 防 司 令 長 武 田 悟

元大館市消防本部

消 防 司 令 長 三 政 俊 明



知事の伝達式

各地域における総合防災訓練の実施状況

能代市山本郡

開催日	平成30年5月24日 (木)
開催地	能代市
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 5月24日(木)午前10時、青森県から新潟県にかけての日本海を震源とするマグニチュード8.7の巨大地震が発生。能代地域の震度は6強、地震により家屋倒壊、交通事故、火災発生。 地震2分後に大津波警報発表、津波発生(能代地域の最大津波高11.6m、最大波到達時間28分後) 能代市は防災行政無線により高台への避難の広報を実施する。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線広報、避難誘導 災害対策本部運用訓練、屋上進入訓練 災害対応訓練(斜めブリッジ救出訓練、一箇所吊り救出訓練、瓦礫救助訓練、火災防ぎょ訓練、応急救護所運営訓練)
参加人員	550人 (13機関・団体)



鹿 角

開催日	平成30年10月21日 (日)
開催地	鹿角市十和田地区 (自主防災訓練)
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 大雨や地震等の各種災害が発生、自主防災組織は高等学校の防災委員に協力を要請し、避難所の開設及び救護活動を開始した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自主防災組織と秋田県立十和田高等学校の防災委員が災害時の連携協力を図るための訓練 避難所開設訓練、初期消火訓練 救急訓練(AED取扱、防災グッズ取扱)、防災啓発
参加人員	60人 (3機関・団体)



男鹿潟上南秋

開催日	平成30年11月4日 (日)
開催地	八郎潟町地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 午前9時40分頃、大雨による「土砂災害警戒情報」が発表され、避難勧告発令により避難開始。 土砂災害が発生し、家屋が巻き込まれたとの通報有り。また、土砂災害箇所付近で建物の電源がショートし火災が発生した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部設置訓練 防災行政無線による伝達訓練、住民避難訓練 ドローンによる捜索訓練 水防訓練(積み土のう工)、水難救助訓練 建物火災防ぎょ訓練
参加人員	300人 (18機関・団体)



大館北秋田

開催日	平成30年11月11日 (日)
開催地	大館市川口地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> 11月11日(日)午前8時、数日来的大雨による河川の増水の状況下、川口地区蟹沢を震源とする直下型地震が発生。大館市では震度6強の揺れを観測し、各種の災害が発生した。 市では、直ちに災害対策本部を設置し情報収集したところ、河川の増水による洪水や土砂災害の危険な箇所を確認、家屋等の倒壊や火災が発生するなど多種の災害が発生している状況で、防災関係機関が町内会や自主防災組織と協働して避難、安否確認及び負傷者の救出、救護活動などを開始した。
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民避難訓練、情報収集訓練 土砂洪水対処訓練、火災防ぎょ訓練 建物倒壊救出訓練、孤立者救出訓練 避難所(応急救護所)開設運営訓練
参加人員	400人 (30機関・団体)



平成30年度秋田県総合防災訓練は9月2日(日)、秋田県、北秋田市、県警、消防、自衛隊など82機関から約1,600人が参加して行われました。(秋田県総合防災課)

★秋田市支部は、災害対応のため総合防災訓練は実施できませんでした。

横 手 市

開催日	平成30年8月26日(日)
開催地	横手市横手川右岸地区
訓練想定	・集中豪雨(土砂・水災害)
主な訓練内容	・現地対策本部運営訓練、情報収集及び伝達訓練 ・避難誘導訓練(避難行動要支援者) ・給食及び給水訓練、避難所運営訓練(一時福祉避難所) ・救護訓練、土砂水害対応訓練
参加人員	302人(38機関・団体)



由利本荘にかほ

開催日	平成30年9月2日(日)
開催地	由利本荘市岩城地域
訓練想定	・北由利断層を震源とする非常に強い地震が発生し、岩城地域では震度6弱を観測。 ・地震による家屋倒壊及び建物火災が発生している模様。また、大型バスの交通事故により多数の傷病者が発生している模様。
主な訓練内容	・広報訓練、避難訓練、炊き出し給水訓練、初期消火体験、煙体験 ・倒壊建物からの救出訓練、シェイクアウト訓練、避難所運営訓練、建物火災防ぎょ訓練、協定団体による給水訓練、多数傷病者事故対策訓練
参加人員	800人(16機関・団体)



湯 沢 市 雄 勝 郡

開催日	平成30年9月11日(火)
開催地	市内全域(主会場:雄勝地域)
訓練想定	・図上訓練:9月10日午後8時、横手盆地東縁帯南部断層を震源とする震度6弱の地震が発生。震源の深さは12km、マグニチュード7.1と推定。被害状況は不明、現在も断続的な余震が発生している。また、9月8日午後3時10分、大雨・洪水警報が発令され現在も継続中である。 ・実動訓練:9月11日午前9時、横手盆地東縁帯南部断層を震源とする震度6強の地震が発生。震源の深さは12km、マグニチュード7.4と推定。被害状況不明、現在も断続的な余震が発生している。
主な訓練内容	・災害対策本部運営訓練(図上訓練)、シェイクアウト訓練 ・街区火災防ぎょ訓練、要配慮者避難訓練 ・トンネル多重事故対応訓練 ・避難所開設運営訓練、炊き出し訓練、ボランティアセンター開設運営検証訓練、燃料供給訓練
参加人員	約1,000人(29機関・団体)



大 仙 仙 北 美 郷

開催日	平成30年8月9日(木)
開催地	仙北市田沢湖地区
訓練想定	・秋田駒ヶ岳では、火山活動の活発化を示す兆候が著しくみられ、気象庁が8月9日(木)午前9時30分、噴火レベル1から3に引き上げる旨を発表。 ・ドローンによる山頂付近の情報収集。 ・各登山口を閉鎖し、登山者等に下山を促す広報活動を開始。 ・火山ハザードマップ内の要配慮者施設に対して避難準備、高齢者等には避難開始を指示する。
主な訓練内容	・ドローンによる情報収集活動等訓練 ・消防団の消防積載車等による倒木除去訓練 ・防災ヘリと地上部隊による災害救助活動訓練 ・火山ハザード内(自主防災会、要配慮者施設)避難訓練
参加人員	450人(37機関・団体)



第8期 女性消防団員教育

秋田県消防学校



第8期女性消防団員教育は、一月二七日(土)、二八日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)において県内六消防団から一名が参加して行われました。

入校式で、秋田県消防協会中田潤会長は「女性消防団員は年々増加しており、昨年と比較し、女性団員を採用している消防団は、三団増え二

五団となり、団員数も三六二人から三八人と、二二人の増となっております。

また、消防活動においても、地域住民の安心・安全に対する関心の高まりなどで、その内容も多様化、専門化してきておりますが、とりわけ女性消防団員には、独り暮らしの高齢者宅の訪問、幼稚園・保育園を対象とした「幼児防火教室」などの防災教育や応急手当の普及指導の面での活躍が、大いに期待されている。」と述べられました。

■研修内容

講話(県消防協会長)
消防活動訓練(訓練礼式、消火訓



■受講生名簿

湯沢市	横手市平鹿	横手市平鹿	大仙市	大仙市	由利本荘市	由利本荘市	八峰町	八峰町	大館市	大館市
湯沢市	横手市平鹿	横手市平鹿	大仙市	大仙市	由利本荘市	由利本荘市	八峰町	八峰町	大館市	大館市
湯沢市	横手市平鹿	横手市平鹿	大仙市	大仙市	由利本荘市	由利本荘市	八峰町	八峰町	大館市	大館市
湯沢市	横手市平鹿	横手市平鹿	大仙市	大仙市	由利本荘市	由利本荘市	八峰町	八峰町	大館市	大館市
湯沢市	横手市平鹿	横手市平鹿	大仙市	大仙市	由利本荘市	由利本荘市	八峰町	八峰町	大館市	大館市

練、放水要領、ホース延長、結
 索要領、煙体験、地震体験)
 救急訓練(応急手当講習)
 各団の活動紹介、意見交換

消防半天・帯・団旗
 優勝旗・ゼッケン
 手拭・タオル・のれん
 旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ
 モリタ自動車ポンプ
 消防被服全般
 秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)
 トーハツ小型動力ポンプ
 モリタ自動車ポンプ
 ジェットホース
 消防被服全般
 火災報知器各種
 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
 TEL(0183)(42)2125
 〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
 TEL (0182)(32)3880
 FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ
 トーハツポンプ
 各種消防機械器具
 消防設備保守点検

キンパイホース
 シバウラポンプ
 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
 E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

「オフロードバイク教育訓練」を実施しました

秋田県総合防災課

平成三〇年十一月三日(土)、秋田県消防学校において、県内の消防団員や消防学校教員など一一名が参加し、「オフロードバイク教育訓練」を開催しました。

この教育訓練は、平成三〇年度消防庁の事業の一環として行われたものです。

当日は、肌寒く感じられながらも天候に恵まれ、講師の方の指導のもと参加者全員がバイクの構造や車体特性不整地走行時の姿勢や注意点など、熱心に受講しました。



その後、消防学校訓練場においてオフロードバイクを使用して運転操作を確認しました。発進停止や慣熟走行、障害物乗り越えなどを講師の指導により体験し、通常の道路走行とは全く異なることを実体験することができました。訓練に参加した消防団員からは「オフロードバイクの特性を体験できて

良かった」、「不整地走行の難しさや特性を改めて理解できた」との意見



があり、実際に体験することで、効果的な教育訓練が行われたと感じました。

今後も消防団員の災害対応能力の向上を図り、より安全安心な社会構築のため、消防学校において教育訓練を実施することとなりますが、関係機関のご協力や消防団員の積極的な参加が求められます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

★平成三〇年度消防庁の事業概要

平成三〇年度予算において、消防団の装備・訓練の充実強化を図るため、消防学校に対し災害現場の状況を速やかに把握するための情報収集活動用資機材(オフロードバイク、ドローン)や女性、学生(若者)でも扱いやすい小型動力ポンプを無償で貸し

付け、消防団への教育を実施する。
□主な研修内容

講義 オフロード車両について

車体構造、名称等

車体特性、オンロード車との比較、走行時の注意点

装備装着、発進停止と安全

慣熟走行

ブレーキング、コーナリング、障害物等の段差越え

実技



□参加者名簿

能代市	団員	小野 祐太
井川町	団員	鈴木 健斗
大潟村	班長	高木 茂之
にかほ市	副団長	金子 英紀
	分団長	佐々木 雄一
	団員	久保 渉
	団員	竹島 和矩
(見学者)	職員	湊 政彦
井川町	班長	佐藤 拓矢
にかほ市		

◆秋田県の地域別設置率◆

☆地域名は、消防本部等の略称で表記

地域名	設置率	地域名	設置率
秋田市	85%	由利本荘市	82%
能代山本広域	90%	湖東地区	46%
横手市	71%	大曲仙北広域	75%
大館市	86%	北秋田市	73%
男鹿地区	92%	にかほ市	89%
湯沢雄勝広域	74%	五城目町	87%
鹿角広域	85%		

(標本調査のため、各数値は一定の誤差を含んでいます。)

住宅用火災警報器の設置状況について：総務省消防庁

総務省消防庁では、平成三〇年六月時点での設置率を公表しましたので、その概要をお知らせします。
秋田県の設置率は、八一・五%で、前回(平成二九年六月時点)の設置率・八一・三%に比べ、〇・二ポイント上昇し、都道府県の順位では二〇位となっています。(前回一九位)
また、全国平均は八一・六%で、最高が福井県の九五・一%、最低は沖縄県の五八・一%。全国平均を上回っているのは一九都道府県、二八県が全国平均を下回っています。

支部情報アラカルト

女性消防団員研修交流会

十月十四日(日)、秋田市消防団本部班長木村綾子さんと能代山本消防本部の田中眞美さんを講師に迎え、女性消防団員及び消防団活動に関心のある一般女性を対象とした研修交流会を開催しました。



あいさつ 中田会長

木村さんからは、秋田市消防団の取り組みや団員の待遇について、そして活動には一人一人の事情や意欲に応じた参加の仕方があることを教えていただきました。これから入団を考えている女性にとって仕事との

両立の不安が解消されたと感じました。



講師 木村綾子さん

また、消防大学校「消防団活性化推進コース」を修了している田中さんからは、全国の消防団の現状や課題、様々な活動を紹介していただきました。

近年、全国各地で自然災害が頻発し、地域防災力の確保が課題となっています。その担い手として、女性や学生に大きな期待が寄せられているところです。

当支部の女性消防団員は十月一日現在で二四名ですが、「消防団」をより多くの女性に知ってもらうためにも活動や取り組みについて、積極的にアピールしていきたいと考えています。

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成30年		平成29年			同期比較	
	10月	累計	10月	累計	年計	10月	累計
建 物	14	130	11	141	166	3	-11
林 野	0	20	0	19	19	0	1
車 輛	2	33	4	28	30	- 2	5
そ の 他	7	61	1	48	51	6	13
合 計	23	244	16	236	266	7	8
死 者 数	2	14	1	18	24	1	- 4
負 傷 者 数	0	30	4	69	77	- 4	-39

(速報値については今後訂正されることがあります)



講師 田中眞美さん

(情報提供) 能代市山本郡支部

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651